

第2学年 国語科 絵を基に、出来事の内容や順序を考えて、物語を書こう

学習指導者 岡根 平

見通し 1 学習課題を確認する。[情]【作家デビューへの道】

本時はまず、前時にしたことと、今日したいことを、学習計画と単元のゴールを示した補助黒板を使って確認した。前時に、既習の物語の「解決」場面で描かれている解決方法を三つに分類したことを想起させた後、本時、自分の物語の「解決」場面を考えたいと思った理由を尋ね、単元のゴールを達成するために、本時の学習課題を解決する必要があることを全体で確認し、学習課題を設定した。

本時の課題設定の理由について、これまでの学習や単元のゴールを基に、説明する姿が見られた。



解決場面を考えることができれば、自分のお話を作って、図書室に展示するゴールに近づくからです。

【価値付け】本時の課題を設定した理由を言葉にしたり、それに共感したりした子供に対し、「ゴールを意識して、今日したいことを考えることができているね」と称賛した。

自分の物語の解決場面を考えよう

行動 2 自分の物語の解決場面の出来事やその順序を考える。[粘]【解決カード】

「人物のすること」「アイテム」「新しい人物」という、事件を解決する方法毎に色分けしたカードを使うことで、解決場面の出来事を多様に想像したり、順序を入れ替えながら吟味したりできるようにした。また、お互いに考えた解決場面を読み合い、友達と助言し合う時間を設けることで、さらに新しい視点で出来事を考えられるようにした。その際には、「出来事の内容」を話し合う時間と「順序」を話し合う時間を分けて設けることで、着目する点を絞って話し合えるようにした。

観点毎に色分けしたカードを活用したことで、出来事の内容やその順序について多様に考える姿が見られた。



「橋を直す」だけでは、よく分からないね。他にどんな出来事を付け足せば、うまくつながっていくかな。



「森に行く」「橋の材料を手に入れる」という出来事を付け足してみたらどうか。

大工さんに出会った後、一緒に材料を取りに行くという順序もいいね。

行動 3 想像した出来事やその順序について再考する。[粘]【解決カード】

友達と互いの「解決」場面について助言し合った後、自分の物語の出来事や順序について、必要なカードを選んだり、順序を試したりして、再考する時間を設けることで、自分の思いを明確にしながら「解決」場面を考えられるようにした。



友達からもらったアドバイスで面白くなりそうだよ。どこに入れるといいかな。

【価値付け】再考後、「出来事の内容をたくさん考えたり、どの順序が面白くなりそうか何度も試したから、自分の物語の『解決』場面を考えられたね」と称賛した。

振り返り 4 本時の学習を振り返る。[信]【ファンレタータイム】

振り返りの観点を示し、互いの頑張りを伝え合う時間を設定した。その後、友達からの評価を基に、自分の頑張りについて振り返り、次にしたいことを記述する時間を設けることで、本時の自分の頑張りが、次にしたいことを考えやすいようにした。



〇〇さんのお話は、事件を解決する方法が面白くて分かりやすかったよ。

考えたことを基に、次はお話の文を書きたいな。

【価値付け】「ファンレターを読んで、頑張りを見付けられたから、次にしたいことを考えられたね」と称賛した。

考察 (○：成果, ●：課題)

- 単元のゴールと学習課題とのつながりを示すことで、課題解決の価値を感じさせることができた。
- 色分けされた「解決カード」によって、多様な観点で出来事の内容を考えたり、順序を何度も入れ替えたりすることができ、自分の思いが明確になるよう、粘り強く構成を考えることができた。
- 交流の時間を「内容」と「順序」の二段階で区切ったが、その分、活動の切れ目が増えてしまい、意識が途切れやすくなってしまった。